

## 洒落言葉(ギャグ)

加藤 誓 (ちかい)

「ギョギョギョ！」ハコフグの帽子で「さかなクン」がテレビ画面一杯に登場。魚について詳しいのに感心するが、絵も上手、明るいキャラクターで大げさなアクションも嫌味でない。



「一ギョ一会」「ギョ一緒に」「ギョ年の月日」など「さかなクンのギャグ」であるギョギョ語が更に番組を面白くさせている。

ところで、このギャグであるが、近年「オヤジギャグ」と若者につまらないと馬鹿にされる傾向がある。

しかし、我ら年代では、ギャグは「洒落」と言って難しい話でも咄嗟に機転を利かし、ふっと笑いを誘い、相手に和みを与える高級な話術なのである。

私が中学で英語を習い始めた頃、親父が「これ分かるか。」と外国語みたいな単語をしゃべりだした。

「オストアンデル」「ヒネルトジャー」「サイテヤーク」「アリヨール」「スルトヒーデル」と。

そうです。ご高齢の皆様はご承知の単語「饅頭」「水道」「鰻」「砂糖」「マッチ」である。

今年も「ヒビブラーリー」の生活ではあるが、6月は「高齢者交通川柳応募」の宿題に、ない頭を絞っていた。

「川柳」は、洒落・ギャグなのである。 自慢作 「渡るまい 三途の川と 黄信号」

若者に「キセル？」と聞くと「不正乗車。」と答える。

キセルは「タバコを燃やす雁首の所と吸い口の両端のみ金」で出来ており、両端のみ切符を買う不正乗車に例えた洒落語が有名となり、元の語である「タバコを吸う道具」は今は使われることもなく死語となってしまったのである。

「今日の飲み代あなたは、ロハだよ！」と先輩の洒落。「ロハ」を漢字で書くと「只」、「ただ、だよ！奢り！」ということになる。

会社名や商品名でこの手があるが、覚えてもらうには良いが薄っぺらな感じもする。

「アスクル」明日来る通販会社、「アステラス製薬」明日照らす製薬。

製薬会社ではだじゃれのオンパレード、研究よりネーミングに力を入れているかと思われる小林製薬。「ブルーレットおくだけ」「さぼったリング」「ナイトール (内脂取る)」「ナリピタン (耳鳴)」「ガスピタン (おなら改善)」「ケシミン (シミ改善)」など、これも洒落と言えるのか、

駄洒落なのか、それは製品の効果で決まるのだ。

「18 と 81 の違い」(誓作の一部) これも洒落。

「胸がドキドキときめくのが 18 歳 胸がドキドキ心配なのが 81 歳」

「金も時間もない 18 歳 金も時間も使えない 81 歳」

「用があるのに寝坊するのが 18 歳 用もないのに早起きするのが 81 歳」

大喜利や落語、も洒落である。

そろそろ、落ちである。「ダジャレを言ったのは誰じゃ」

でも最後に一言「ロシアはおそろしあ」



おあとが  
よろしい  
ようぞ